

以書付奉申上候

私儀、先祖より当国ニ住居仕候処、先般
天朝御料ニ相成候ニ付、何卒御召抱御奉公
被仰付度旨当三月六日

御前江奉願上候儀ニ而、聊以二心無之勤
王尽力仕度儀ニ御座候、此段奉申上候、
誠恐誠惶、

慶応四辰年七月廿日

山内増蔵

梅 速水様

御用人中様

以書付奉申上候

私儀、先祖より当国ニ住居仕候処、先般
天朝御料ニ相成候ニ付、何卒御召抱御奉公
被 仰付度旨当三月六日

御前江奉願上候儀ニ而、聊以二心無之勤
王尽力仕度儀ニ御座候、此段奉申上候、
誠恐誠惶、

慶応四辰年七月廿二日

野瀬義一郎

梅 速水様

御用人中様